

竹の利活用技術・事業 紹介シート

No. IV-2 (#1)

<p>活動事業 の名称</p>	<p>地域バイオマスを利用した里山エネルギー循環モデル事業(ぶんごるエネルギー)</p>
<p>活動事業の 概要及び特徴</p>	<p>本市は、以前より一貫して人口減少傾向が続いており、地域特性を活かした経済循環・雇用の創出など人口減の抑制策が求められている。また、豊富な森林資源を有しているものの、耕作放棄地や放置竹林が存在しており、バイオマス資源の有効活用が十分に図られているとは言い難い状況である。さらに、2016年4月の熊本地震を経験して、改めて防災対策の重要性を認識したところである。</p> <p>このようなことから総務省事業である分散型エネルギーインフラプロジェクトを通じて、地域エネルギー事業並びにそれらに関するバイオマス産業等を創出し、地域活性化・雇用創出を目指す。また、市内林業を最大限活用し、活力アップを支援するとともに、市内森林や放置竹林の整備を図り、あわせてバイオマス利用による地球温暖化防止への貢献を進めるとともに、災害に強いまちづくりを進め、第2次豊後大野市総合計画における将来の都市像である「人も自然もシアワセなまち」の実現を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① バイオマス活用による地域活性化と新たな産業づくりへの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー産業としての木質バイオマス発電事業及び熱供給事業の推進 ・林業の活性化と森林の再生、放置竹林対策 ・自然エネルギー利用の促進による人づくり ② バイオマス資源の有効利用による地球温暖化防止 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスの活用により、化石資源の枯渇と地球温暖化の解決に貢献 ③ 自立・分散型エネルギーシステムの導入による災害に強いまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災や熊本地震などの教訓を踏まえ、地域資源を活用した自立・分散型エネルギーの活用の推進 ・森林の環境整備による市民の安全確保(山崩れや土砂災害等の防止)と災害対応コストの削減につながる減災効果の発揮
<p>活動範囲・時期</p>	<p>市域全域</p>
<p>活動状況写真、 活動実績グラフ 等</p>	<p>分散型エネルギーインフラプロジェクトのイメージ図(案)</p> <p>■木質バイオマス排熱利用エリア (三重町地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未整備森林 放置竹林 耕作放棄地 汚泥 木質バイオマス発電所(民間) 地域エネルギー会社 熱供給事業 入浴施設 (温泉開発/入浴) 農園施設 (施設栽培/観光農園) 乾燥施設 (木質チップ/米・麦・大豆・野菜) 熱電供給事業 公共施設 (市役所/文化ホール 図書館/学校) 体育施設 (体育館/温水プール) 医療・介護施設 (市民病院/民間医療・介護施設) 工場その他 (工場/宿泊施設 農業用施設) ■バイオマス供給エリア ■オンサイト型バイオガス利用エリア (市域全域)
<p>連絡先</p>	<p>豊後大野市 地域創生課 住所: 〒 879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地 電話: 0974-22-1001 E-Mail: bo063000@bungo-ohno.jp</p>

活動事業
の名称

地域バイオマスを利用した里山エネルギー循環モデル事業(ぶんごるエネルギー)

活動写真、活動実績グラフ等

木質バイオマスチップの調達について



市内林業・
間伐材



バイオマス発電所
木質チップ調達網

オンサイト型
熱電併給事業
(公共・民間)



出典：株式会社エム・アイ・エス HPより



市民と連携した
竹材収集

地域啓発型熱事業

